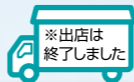


# 移動販売車「あおぞら *delica*」<sup>デリカ</sup>

本年1月より、当所では会員事業所を対象に、厚生労働省の「働き方改革推進支援助成金」で導入した移動販売車の無償貸出「移動販売車」という新たな選択肢を提案し、ご利用いただくことで販売機会の創出や店舗への誘客効果が期待できます。また、本号では、あおぞら delicaを利用された2社より、利用のきっかけや出店の成果と課題についてお話を聞きました。

## 洋食屋 Pannonica 様



代表 甲斐 立吉 さん 店主 甲斐 幸恵 さん

当店は、「洋食」と「ジャズを中心とした音楽ライブ」が楽しめるお店です。全国のライブハウスでの感染が取りざたされた時には、ランチとディナーの集客が大きく落ち込みました。また、地下のお店なので、店内に入ることを躊躇されるお客様もいらっしゃいます。現在は、店内飲食とテイクアウトによる売上が中心で、ライブは約8割が中止または延期となり、厳しい状況が続いています。新たな事業展開としてキッチンカーの出店を考えていました。そんな時、岐阜商工会議所の移動販売車の無償貸出サービスが始まったことを知り、挑戦してみようと思いました。夫は、グランドホテルなどでの厨房経験があり、洋食が得意です。なかでも当店看板メニューのハンバーグを提供することに決めました。

### 販売にあたって

真冬の屋外での販売では、お客様をお待たせしないことが何より大切だと思いました。そこで、温かい商品を素早く提供するために「煮込みハンバーグ」にしました。ピーク時に混乱しないようにメイン商品を1つに絞り、役割分担も明確にして販売に臨みました。また、お店のFacebookでの情報発信、リピートしていただくためのクーポン券やチラシの配布、2週目には新たなお弁当を追加するといった工夫をしました。



あつあつ煮込みハンバーグ 800円(税込)



### 利用を終えて

初週はすべて完売しました。知り合いや市役所でお世話になった方、お店のファンになって何度も買いに来てくださった方、予約したいとまでおっしゃった方もいて、本当に嬉しかったです。従業員からも「すごく楽しかった」と言われました。コロナ禍において、移動販売という選択肢がとても有効だと実感しました。すぐに車両や設備を購入するのは資金的にも難しいですが、今後、いろんな場所で商品を販売してみたいと思いました。また、お店での提供とは異なるメニュー開発やオペレーションについて学べたことも今後の事業展開を考える上で良い経験になりました。

お問い合わせ 移動販売車係 Tel. 058-264-2131

# 出店レポート

利用者  
募集中!

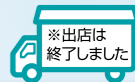
予約方法 URL <http://www.aozora-delica.com>  
専用ホームページをご確認の上、利用条件を満たしていることが確認できましたら、予約フォームよりご予約ください。  
※ご予約は先着順となります。



サービスを開始しました。コロナ禍の厳しい経営環境の中で、販路の開拓やビジネスモデルの転換を検討されている方に時間あたりの売上高増加や生産性の向上、労働時間の短縮など、働き方改革の実現にも寄与します。

※2022年1月～6月の貸出期間は「みんなの森ぎふメディアコスモス(みんなの広場)」に1週間のうち平日3日以上出店できる方が対象となります。

## 株式会社岐阜グランドホテル 様



代表取締役社長 葛西 信三 さん

岐阜グランドホテルで皆様に馴染みのある商品として、「あんぱん」と「カレーライス」があります。あんぱんをこれまで外で売るといことはあまりしてきませんでした。しかし、コロナ禍の厳しい状況の中でホテルのビジネスモデルも変わり、最近では各務原市や名古屋市でも販売しています。ホテルの中だけでは、事業・ビジネスが難しいということで外に出て行く動きがあります。カレーライスは人気が高く、キッチンカーを自前で購入し、販売できないかという議論を社内で行っていました。そのような時に利用の機会を与えていただいたため、挑戦を決意しました。

### 販売にあたって

公式Twitterでの情報発信、購買意欲を促すタペストリーの制作、付加価値としてのコーヒーの無料サービス、コロナ禍で接触機会を減らすためのキャッシュレス決済(PayPay)の利用といった工夫をしました。



ホテルビーフカレー(コーヒー付) 1,000円(税込)



### 利用を終えて

1週目は、ほぼ期待通りの売上を達成し、完売した日もありました。2週目は、雪や雨で人出が少なく、メニュー内容でもリピーターの獲得が上手くいかないところがありました。出店日の天気予報の確認やサービスの機動性は大切だと思います。新聞をご覧になって来られた方、ホテルカレーのファンの方、何度もお越しいただいた方たちに感謝するとともに、お客様との対話の楽しさも実感しました。